

# キラリ 熱中時間

深谷市にゆかりがあり、市内外で活躍する個人や団体を紹介します。

『第31回全国花のまちづくりコンクール』で大賞受賞！



ふかや緑の王国ボランティア

代表

富沢隆史さん

ボランティアメンバー

嶋村秀子さん

『楽しく参加』で広がる  
花のまちづくり活動

「今回の受賞は、ボランティア全員の日々の活動が認められた結果なんです。」と力を込めて話すのは、『ふかや緑の王国ボランティア』代表の富沢隆史さんです。今年9月、富沢さんたちの活動は、『第31回全国花のまちづくりコンクール』において、応募総数1,031件（うち団体部門826件）から5件のみを選ばれる『大賞』（国土交通大臣賞）に輝きました。

『ふかや緑の王国ボランティア』の皆さんは、市が県から譲り受けた園芸研究所跡地である『ふかや緑の王国』を、平成20年から10年以上かけて、花が主体の憩いの場として再生させてきました。今では、さまざまなコンセプトのガーデンを整備するほか、各種イ

ベントの開催など活動は多岐にわたり、30～90歳代の約100人がそれぞれのペースで活動に参加しています。今回の受賞も、このような厚みのある活動内容が評価された結果でした。

発足当初から参加する嶋村秀子さんは、今回の受賞について、「ボランティアの皆さんが、受賞したことを家族などにも話せて、自分たちの活動を誇りに思えたら良いですね。」とにっこり。そして「これからも、たくさんの人に自然を楽しんでもらえるよう、緑の王国をさらに美しくしていきたいです。」と続けます。それに応えて「長く続けるには、『楽しむ』というのが大事だね。」と話す富沢さんの言葉に、活動が10年以上続いている秘訣が垣間見えました。



▲販売会に向けて、敷地内で採集した植物を使い、クリスマスリースを制作するボランティアの皆さん。

『ふかや緑の王国ボランティア』の参加者を随時募集しています。興味のある方は、ガーデンセンターふかや推進室（☎551-5551）までお問い合わせください。

## 『農業』で

# 深谷を元気に！

深谷市では、『儲かる農業都市ふかや』の実現を目指し、『農業』を核とした産業のブランディングを進めています。問い合わせ/産業ブランド推進室（☎577-3819）  
産業ブランド推進室 | 検索

もう参加してる？深谷の絶品グルメラリー！

『深谷ねぎフェア2021-2022』  
デジタルスタンプラリー  
令和4年2月28日(月)まで！

野菜を楽しめるまち『ベジタブルテーマパークふかや』では、『深谷ねぎフェア2021-2022』を開催中です！

1番の目玉イベントは『デジタルスタンプラリー』。市内の深谷ねぎグルメを堪能しながら、スマートフォンでスタンプを集めるスタンプラリーです。今まで紙で楽しんでいたワクワクを、スマートフォン1台で楽しめます。



深谷の味を、  
めぐる冬。



まだ参加していないかたも、スマートフォンを片手に参加しませんか？  
左のQRコードからエントリーして、さっそくスタンプを1個ゲット！

### 参加方法

ダウンロード不要のWEBアプリのQRコード(上記)を読み込み、エントリー！

VEGE-1グランプリ参加店舗で対象メニューを注文または対象店舗などで買物し、スタンプ用のQRコードを読み込む

スタンプを集めてスマホで抽選に参加

抽選でステキな景品をゲット!!



▲景品イメージ

ふっかちゃんの日常から  
深谷が見えてくる

## ふっか 散歩

100 深谷大河ドラマ館

今日は、『渋沢栄一 青天を衝け 深谷大河ドラマ館』に来たよ！『深谷大河ドラマ館』が楽しめるのは、令和4年1月10日(祝)までって聞いて、また来てみたよ。

総合案内で栄一翁が、「みなさん、こんにちは。」ってお出迎えてくれたよ！さっそく中に入ってみるねえ！



総合案内



◀『中の家』の再現セットの前で、役者さんの等身大パネルと記念撮影！

あれえ？2階に懐かしいあの子がいるね！

他にも『中の家』のお座敷に上がった時、撮影に使った衣装を見たりして、いっぱい楽しめたよお。



▲お土産も要チェックだよねえ！おネギも売ってる～！ほかに、深谷の新鮮な野菜とか、お菓子とか、グッズとか、こだわりの品がいっぱいで、迷っちゃうなあ。

### ふっかちゃんのつぶやき

ネグリ☆イルミネーションの季節がやってきたねえ！寒さに負けないようにアツアツの煮ほうとうを食べて体を温めようY(o0ω0o)Y



## 心の広場

上柴西小学校3年(現4年)  
岡 優稀さん



### 相手に対する思いやり

「この問題は、どういう意味なのかな。わからないな。」と、べん強の事でこまっている友だちがいました。ぼくは、「声をかけて教えてあげようかな。」と思いました。でも、

「教えていると時間がないな。」

と思っ声をかけるかまよいました。ぼくは、けっきょく声をかけて教えてあげられませんでした。

その日の昼休み、ぼくは外に行き遊んでいました。でも、思いっきり遊びを楽しむ事ができませんでした。なぜなら、ぼくの心の中では、

「どうしてこまっている友だちがいたのに自分から声をかけて教えてあげることができなかったのだろう。」と、心がモヤモヤしていました。

数日後、その友だちがまたこまっているようでした。

「こまっているんだから、今度こそたすけなくちゃ。」と思い、ゆう気を出して自分から声をかけて教えてあげました。

「教えてくれてありがとう。」と言われて、心がぼっとあたたかくなりました。心のモヤモヤがなくなり、その日の昼休みは、とても楽しく遊べました。

前回は、相手がこまっているのを分かっていたのに、声をかけることができず、相手の事より、自分の事をゆう先してしまいました。今回は、相手がこまっている事に気付いて、ゆう気を出して自分から声をかけ助けることができました。とてもすがすがしい気持ちになり、前回よりも、自分の事がすきになれました。

全校朝会で校長先生が

『己の欲さざる所、人にほどく事なかれ。』という言葉を見せて下さいました。その言葉のように、ぼくは、これからも、自分がされてうれしい事を、友だちやまわりの人に自分から進んでできるようにしていきたいと思いました。